

ミッション

1. AI研究支援のための情報法制の研究と提言～一般財団法人情報法制研究所(JILIS)との連携

- (1) AI研究のための、データの国内集積力(量)の向上とデータのクオリティ(質)の確保
- (2) 個人情報の越境データ問題の解決
 - ・(国際)欧州の一般データ保護規則(GDPR)の動向と十分性認定の維持
 - ～個人情報保護法改正論:憲法との接合、民法との交錯領域の研究
 - アメリカプライバシー法の動向調査
 - アジアの個人データ保護法の動向調査
 - ・(国内)個人情報保護法制2000個問題の解決
 - ～個人情報保護委員会の下でのルールの統一
 - 公私連携と学術研究目的の適用除外の確保
- (3) プライバシーの権利、知財、契約法、競争法その他の法制の検討

2. AI実装社会の法的問題(民事・刑事・行政)の分析と提言

- (1) 医療・ゲノム～一般社団法人日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会(JUMP)との連携
 - ・解釈論上の課題:次世代医療基盤法、医療等分野の各種ガイドラインの検討
 - ・立法論上の課題:医療分野における仮名データ利用法、倫理審査委員会3000個問題の解決
 - ゲノム法案の検討
- (2) 健康～理研健康脆弱化予知予防コンソーシアムとの連携
- (3) 防災～KDDI総合研究所との連携(案)
 - ・高知県及び神奈川県等の事例研究
- (4) 自動走行(ドローン)～東大、街×テクノロジーのCT委員会との連携

3. 「AIと法研究会」～中川チームとの連携

上記1及び2、その他倫理問題等のテーマについてチーム合同で研究会を組織し、以下の活動を行う。

- (1) 研究会の開催
- (2) セミナー・シンポジウムの開催
- (3) 書籍の発行

2019年度主要成果

(提言)

- ・海賊版サイト対策におけるブロッキング法制の問題点についてJILISとともに提言を行い、超法規的なブロッキング及び拙速な立法を阻止し、通信の秘密とインターネット社会の自由を守るために活動した。
- ・海賊版サイト対策における静止画ダウンロード違法化に向けJILISや明治大学とともに著作権法改正の適正化をめざして要件の提案を行い、研究及び創作活動の無用な萎縮を回避すべく活動を行っている。
- ・警察の捜査関係事項照会による安易な個人データの第三者提供及びデータプライバシー保護について刑訴法上の論点に加えて、欧州GDPR上の十分性認定上の問題があることを指摘し、改善案を提言すべくJILISとともに活動中である。

(論文等)

- ・成原慧「海賊版サイトのブロッキングをめぐる法的問題」法学教室453号45頁以下(2018年)
- ・成原慧「解説 我々とは誰のことか、あるいはAIという他者」山本龍彦(編)『AIと憲法』(日本経済新聞出版社、2018年)他多数